

週間感染症情報

2023年1-4週 2023年1月2日より2023年1月29日まで

1週 2週 3週 4週

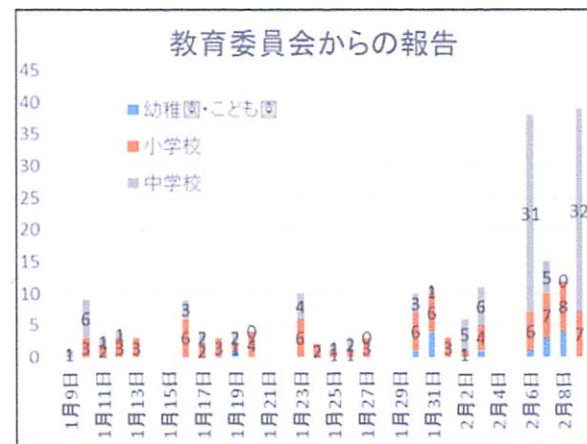
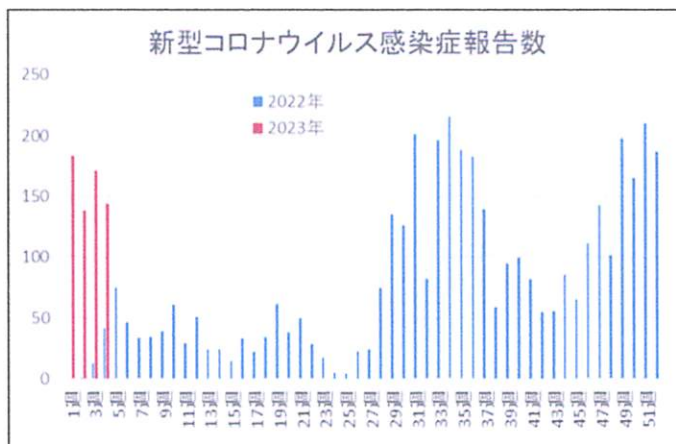
麻疹				
風疹				
水痘(みずぼうそう)		2	3	
ムンプス(おたふくかぜ)				
百日咳				
溶連菌感染症	1		2	2
手足口病	2			
ヘルパンギーナ		1		
伝染性紅斑		0		
感染性胃腸炎	50	53	61	37
ロタウイルス(再掲)				
便アデノウイルス(再掲)				
突発性発疹	2		2	
伝染性膿痂疹(とびひ)	5	2		
ヘルペス性口内炎			1	
アデノウイルス感染症	2	1	1	2
RSウイルス感染症			2	2
マイコプラズマ感染症				
ヒトメタニューモウイルス				
インフルエンザ				
インフルエンザ A	18	28	36	33
インフルエンザ B	0	0	1	0
新型コロナウイルス感染症	183	138	171	144

遅くなりましたが、2023年1週から4週の4週間の報告です。新型コロナウイルス感染症の報告は2022年51週の210例をピークに減少傾向ですが、多い状態が続いています。小児とワクチン未接種の若い方が多いです。2月に入りさらに減少していますが、かぜと自己診断して受診しない方もおられるのではと思います。

溶連菌感染症の報告が数例あります。イギリスなどでは流行しており死者も出ているとのことで、注意が必要です。感染性胃腸炎の内、ノロウイルス抗原陽性例が2週に2例、3週に1例ありました。多くの場合保険診療の適応になりませんので、流行状況を知るために医院の負担で検査しています。ロタウイルスは、ワクチンが定期接種となって以後、ほとんど報告がありません。

3学期になりインフルエンザの報告が増えています。ほぼインフルエンザAです。右下のグラフは教育委員会からの2月9日までの報告のまとめです。2月に入り、西中、東中でインフルエンザによる学級閉鎖が出ています。

クラブ活動を介して流行が拡大しました。コロナと違い、インフルエンザのクラス内の流行は約1週間、施設内の流行は2週間程度で終息します。今後、家族内感染でその地域の小学校や保育園などに感染が拡大することが心配されます。まずは、体調不良の場合は十分に休みを取り、周囲に感染を広げないようにしましょう。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)